

R5年度 美術館評価調書

A 優れた作品の収集と適切な保管

函館 美術館

【基本的運営方針】

函館を中心とした道南地域における各分野の優れた美術作品を、系統的に収集・保存するほか、道内外及び海外の作品の収集も行う。

【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画 [PLAN]	事業実施状況 [DO]
優れたコレクションの形成	・道南ゆかりの作家や道内の書家との繋がりを大切にし、優れた作品の収集に取り組む。	・道南ゆかりの作家や美術関係者と交流を密にし、作品に関する調査や情報収集を行った。
所蔵作品の適切な保管	・所蔵品データベースへの登録を計画的に進め、作品の保管環境維持のため、適切な温度・湿度管理などを行う。	・全所蔵品データベース登録が完了した。 ・機械設備の故障があったが、適切な温湿度管理を行うよう努めた。
コレクションの効果的な活用	・特別展（所蔵品展）、常設展における展示のほか、他館と連携しニーズに対応した所蔵品の貸出を行っていく。	・特別展「くりかえしのアート」、「前田政雄展」における当館所蔵品の展示 ・オンラインアート教室における所蔵品の紹介 ・釧路美術館、創玄書道会への所蔵品の貸出

【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]		評価 [CHECK]					今後の対応方向 [ACTION]		
		前年度実績	目標値(a) 設定の考え方	実績値(b)	達成率(b/a)	指標の判定	項目評価 成果・課題	総合評価			
優れたコレクションの形成	収集方針に基づく収集活動 [定性]	—	—	—	—	①	b	道南ゆかりの作家の作品4点（油絵2、水彩2）の寄贈を受けた。	B	<ul style="list-style-type: none"> 今後も作品の適切な保管環境の維持に努める。 収集方針「文字と記号に関わる現代美術」のテーマについては、寄贈の可能性が低いことから、引き続き、現在活躍中の作家や関係者に関する調査を行い収集に繋げていく。 	
所蔵作品の適切な保管	所蔵品データベースの整備率	100%	100.0%	全作品の整備	100.0%	100.0%	①	a			作品の良好な保管環境維持を行うことができた。修復は予算等との調整もあり検討が必要。
	適切な保管環境の維持と所蔵作品の計画的な修復 [定性]	—	—	—	—	—	①				
コレクションの効果的な活用	コレクションの活用の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①	b	他館への貸出のほか、「前田政雄展」では展示替を行うなど、所蔵品を活用できた。		

R5年度 美術館評価調書

函館 美術館

B 多彩で特色ある展示活動の充実

【基本的運営方針】

当館の所蔵作品を計画的に展示するとともに、他の道立美術館等と連携し、その所蔵品を紹介する。また、借用作品によって国内外の展覧会を自主的に企画・実施する。

【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画 [PLAN]	事業実施状況 [DO]
多様なニーズに応える展覧会の開催	・道南ゆかりの作家の作品をはじめ、様々なジャンルの当館コレクションの展示や他館との連携により、国内外の優れた美術作品の鑑賞機会を提供する企画展を計画的に開催する。	・アニメ原画の展示、写真、書、版画など多様なジャンルの展覧会を開催した。 ・「くりかえしのアート」展では、当館所蔵品の展示に加え、他団体・個人の作品を多数展示した。 ・「前田政雄展」では、函館出身の前田政雄の版画や油絵などを版画技法の資料等を交え紹介した。
観覧者拡充のための工夫	・幅広い世代の人々に美術や美術館に対する興味・関心や親しみを持ってもらうため、創意工夫した展示に取り組む。 ・展覧会に関連する多彩な教育普及事業を実施し、リピーターを含めた来館者の拡充に取り組む。 ・どうなんアートリンク連携館による相互割引やスタンプラリーを実施する。 ・当館所蔵品の観覧意欲を高めるため、常設展の展示方法の工夫や特別展との連動に取り組む。	・「くりかえしのアート」展示室内で作家が公開制作を行い、観覧者が制作に参加する機会を設けた。 ・常設展「中野北溟《津軽》」に関連し、津軽弁による作品朗読とトークを実施した。 ・写真展「日本ねこ歩き」において、来館者が持参したねこの写真をコンコースに展示した。 ・どうなんアートリンクの相互割引、スタンプラリーを実施し、来館者拡充に努めた。
館外における鑑賞機会の提供	・道内外の美術館等からの貸出依頼に柔軟に対応し、当館所蔵品の鑑賞機会の拡大・充実に取り組む。	・他館への作品貸出（2館） ・オンラインアート教室（小学校2校、義務教育学校1校、特別支援学校1校） ・北海道高等学校遠隔授業配信センターによる当館からの授業配信（高等学校2校）

【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]			評価 [CHECK]				今後の対応方向 [ACTION]		
		前年度実績	目標値(a)	設定の考え方	実績値(b)	達成率(b/a)	指標の判定	項目評価 成果・課題		総合評価	
多様なニーズに応える展覧会の開催	展覧会の観覧者数（※展覧会毎の内訳は下表のとおり）	37,236	47,251	下表のとおり	49,203	104.1%	①	a	観覧者数は目標値をほぼ達成し、満足度も高い結果となった。	B	・多彩な展覧会や道南ゆかりの作家の作品紹介を行い、来館者の満足度の向上をめざす。 ・展覧会関連事業の充実をはかり、来館者拡充やリピーター率の向上に努める。
	観覧者の満足度	81.1%	86.5%	過去5年間の最高値	90.1%	104.2%	①				
観覧者拡充のための工夫	観覧者に占めるリピーターの割合	44.1%	68.4%	過去5年間の最高値	53.3%	77.9%	④	c	リピーター率は目標の7割弱に止まったが、観光客の利用が多かったことも要因と考えられる。児童生徒を含め、幅広い世代に興味・関心を持ってもらえる展覧会や関連事業の実施が必要。		
	観覧者に占める児童生徒の割合	14.5%	21.9%	過去5年間の最高値	16.7%	76.3%	④				
	展示の企画構成やPR等の工夫 [定性]	—	—	—	—	—	①				
館外における鑑賞機会の提供	館外における展示活動の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①	b	貸出やオンラインアート教室により、館外での展示や鑑賞機会が広まった。		

[展覧会開催状況]

区分	展覧会名	計 画				実 績				特記事項	
		会期	開催日数	観覧者見込数 (うち児童生徒)	1日当たり観覧者数	会期	開催日数	観覧者数 (うち児童生徒)	1日当たり観覧者数		
常設展	新収蔵品展／鷗亭と牧水	4/1～4/16	14	560 (123)	40	4/1～4/16	14	327 (44)	23		
	生誕100年 鎌田俳捺子展／金子鷗亭Ⅰ期	4/29～9/24	118	8,260 (1,809)	70	4/29～9/24	118	9,372 (1,814)	79		
	中野北溟《津軽》／金子鷗亭Ⅱ期	10/7～12/3	51	3,060 (670)	60	10/7～12/3	51	3,984 (356)	78		
	新収蔵品展／金子鷗亭Ⅲ期	12/3～3/31	79	3,160 (692)	40	12/3～3/31	79	2,924 (392)	37		
	常設展計	—	262	15,040 (3,294)	57	—	262	16,607 (2,606)	63		
特別展	館単独主催展	ことばと絵 くりかえしのアート	7/15～9/24	62	5,000 (1,095)	80	7/15～9/24	62	4,609 (1,018)	74	
		岩合光昭の日本ねこ歩き	10/7～12/3	51	8,000 (1,752)	156	10/7～12/3	51	9,798 (908)	192	
		生誕120年 前田政雄展	12/23～3/31	79	2,500 (548)	31	12/23～3/31	79	3,250 (413)	41	
	実行委員会展	新・山本二三展	4/29～6/25	50	15,000 (3,285)	300	4/29～6/25	50	13,255 (2,309)	265	
	貸館展	第64回北海道書道展函館展	7/1～7/7	6	1,711 (375)	285	7/1～7/7	6	1,684 —	280	
	特別展計	—	248	32,211 (7,054)	129	—	248	32,596 (4,648)	131		
合 計		—	510	47,251 (10,348)	186	—	510	49,203 (7,254)	96		

R5年度 美術館評価調書

函館 美術館

C 学習の場と情報提供の充実

【基本的運営方針】

美術講演会、各種解説事業、美術映画会、ワークショップ等の多様な教育普及事業や、図書資料整備、出版活動、ソーシャルメディア等を活用した情報発信などにより、学習機会や情報・資料提供の充実を図る。

【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画 [PLAN]	事業実施状況 [DO]
教育普及活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 展覧会の内容に関連した多種多様な教育普及事業を実施する。 ○ 展示室内での解説事業の再開や、参加者の人数制限の緩和を行い、充実した内容の活動を提供する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演会事業（常設展：中野北溟《津軽》） ・ 解説事業（見どころ解説2回、美術講座2回） ・ 映像事業（美術映画会10回、特別映画会5回） ・ 創作・体験事業（ワークショップ4回、ハコビ・アトリエ2回、書道パフォーマンス） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 展覧会に関連した多種多様な教育普及事業を実施した。（58回） <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月15日からの「くりかえしのアート」展より、展示室内での解説事業を再開 ・ 講堂で開催する映画会や見どころ解説等の定員を25名から80名に拡大して実施 ・ 常設展に関連した津軽弁による「朗読とトーク」 ・ 松前高校書道部による書道パフォーマンス ・ コンコース、ホールでの写真展やミュージアムコンサート
情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報提供を充実する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で中止していた図書コーナーを、展覧会関連の図書を選書するなど工夫した上で再開 ・ 昨年度成果がみられた、展示作品等のSNSによる情報発信やFM放送局での展覧会紹介の継続 ・ ホームページによる情報発信 ・ リモートミュージアムの公開 ・ 地元新聞社と連携した所蔵作品やイベント等の情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 展覧会関連書籍を選書した図書コーナーの再開 ・ ホームページ、SNSを活用した美術館主催事業等の情報発信 ・ 「くりかえしのアート」展のリモートミュージアム公開 ・ どうなんアートのリンクの相互割引チラシ配付 ・ 地元ラジオ局への出演、新聞社等への広報活動 ・ 美術館利用案内のチラシを作成し、地域の文化団体等へ配付

【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]			評価 [CHECK]					今後の対応方向 [ACTION]	
		前年度実績	目標値(a)		実績値(b)	達成率(b/a)	指標の判定	項目評価	総合評価		
			設定の考え方								成果・課題
教育普及活動の充実	教育普及プログラムの実施件数	53	53	令和5年度事業実施計画による	58	109.4%	①	a	・ 展覧会の理解を深めるプログラムを企画した結果、目標値を超えるプログラムの件数と参加者数となり、教育普及活動の充実が図られた。 ・ 一部の事業では参加者が少数であったため、周知方法を工夫する必要がある。	B	・ 展覧会の展示内容に関連し、地元団体や教育機関と連携した様々なプログラムを企画するなど、更なる教育普及事業の充実を図る。 ・ ホームページやSNS、新聞社等を活用した情報発信に努める。
	教育普及プログラムの参加者数	7,066	3,974	令和5年度事業実施計画による	4,925	123.9%	①				
	教育普及プログラムの企画・実施状況 [定性]	—	—	—	—	—	①				
情報提供の充実	ARS、図書コーナーの利用件数	0	1,829	過去5年間の最高値	483	26.4%	④	c	・ 図書コーナーの選書や展覧会の関連書籍コーナーなど、ボランティア団体と連携して取り組む必要がある。 ・ ホームページや地元新聞を利用しイベントをPRすることで、効果的に情報提供を行った。 ・ SNSによる展覧会や関連事業の紹介により、情報提供の充実が図られた。	B	
	利用しやすい図書・資料コーナーの整備 [定性]	—	—	—	—	—	①				
	ホームページアクセス件数	218,987	218,987	過去5年間の最高値	254,199	116.1%	①				
	SNSの投稿数	148	148	過去5年間の最高値	179	120.9%	①				
	リモートミュージアムの公開件数	1	1	過去5年間の最高値	1	100.0%	①				
情報発信の工夫改善 [定性]	—	—	—	—	—	①					

R5年度 美術館評価調書

函館 美術館

D 活動の基礎となる調査・研究の推進

【基本的運営方針】

函館を中心とした道南地域等の美術に関する各分野の調査・研究を行う。

【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画 [PLAN]	事業実施状況 [DO]
調査・研究の推進	<p>○道南地域ゆかりの作家、作品に係る調査研究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道南ゆかりの作家に係る特別展、常設展開催にむけた調査研究 ・他の美術館・博物館等との連携による調査研究 ・学芸員の研修機会の確保 	<p>○各学芸員が、展覧会開催のため調査・研究を行い、展覧会の実施・充実に結びつけた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「くりかえしのアート」展では、地域の美術活動を丁寧に調査し、テーマと結びつけた出品やワークショップ開催などを実現した。 ・「前田政雄展」では、他美術館などが所蔵する資料を綿密に調査し、新たな知見を盛り込んだ展覧会にすることができた。

【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]			評価 [CHECK]				総合評価	今後の対応方向 [ACTION]
		前年度実績	目標値(a)	設定の考え方	実績値(b)	達成率(b/a)	指標の判定	項目評価(※定量指標がないため最高評価はb) 成果・課題		
調査・研究の推進	学芸員による調査・研究の報告や発表の状況 [定性]	-	-	-	-	-	①	b ・今年度発行の「紀要」に調査・研究の成果を論文として掲載した。 ・調査・研究の成果を展覧会の内容充実に結びつけた。 ・北海道美術館学芸員研究協議会に学芸員を出席させた。	B	地域美術、あるいは収蔵方針を踏まえた調査・研究を継続的に行い、基礎的な情報の蓄積を進め、研究論文の執筆・発表、展覧会の企画や内容の向上につなげていく。
	学芸員の研修等の状況 [定性]	-	-	-	-	-	①			

R5年度 美術館評価調書

E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上

函館 美術館

【基本的運営方針】

ボランティア団体、地域の学校、博物館施設及び文化団体等と連携した取組を推進し、地域文化の振興と活性化を図る。

【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画 [PLAN]	事業実施状況 [DO]
多様な機関との連携・協力	○美術館の活動を支えるボランティア団体との協力体制を一層強固なものとし、館運営の改善や活性化に取り組む。 ・ワークショップ等の事業や図書資料整備等における連携・協力 ○五稜郭周辺の文化施設を含む「アートギャラリー北海道」の道南地域連携施設による「どうなんアートリンク」をはじめ、地域との連携・協働による取組を実施する。 ・相互割引やスタンプラリーの実施 ○その他地域振興・観光振興に寄与する取組の実施 ・函館商工会議所青年部主催「はこだてカルチャーナイト」参加、クルーズ船でのPR活動、高齢者大学への講師派遣	○ボランティア団体への日常的な指導・助言、役員との打合せや情報共有を行い、協力体制の強化に努めた。 ・展覧会ごとの研修、ワークショップの協力、エアレジの導入、展覧会にちなんだスイーツの販売等 ○どうなんアートリンクの取組（道南地域連携文化施設との連携） ・相互割引、チラシの配付、スタンプラリーを実施 ○その他 ・はこだてカルチャーナイト参加、クルーズ船でのチラシ配付、高齢者大学への講師派遣、新・山本二三展にちなんだ五島軒期間限定メニューや近隣飲食店の特典企画
学校等の教育機関との連携・支援	○地域の教育機関と連携した取組 ・高等学校の地域探究学習の受入 ・高校生による書道パフォーマンス ○地域の教育機関への支援 ・教員のための鑑賞研修 ・オンラインアート教室 ・キャンパスパートナーシップメンバー校登録に向けた広報活動	○地域の教育機関と連携した取組 ・市立函館高校の地域探究型学習 ・書道パフォーマンス ○地域の教育機関への支援 ・教員のための鑑賞研修2回、美術館活用学習のための指導者研修2回 ・オンラインアート教室4校 ・道立高校への授業配信

【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]			評価 [CHECK]					今後の対応方向 [ACTION]	
		前年度実績	目標値(a)		実績値(b)	達成率(b/a)	指標の判定	項目評価			総合評価
			設定の考え方					成果・課題			
多様な機関との連携・協力	地域の団体やイベント等と連携した取組の状況 [定性]	-	-	-	-	-	①	b	・ボランティア団体との連携・協力により、館運営の活性化が図られた。 ・地元放送局や新聞における展覧会やイベント紹介により、参加者数の増加が見られた。	B	・ボランティア団体をはじめ、地域企業や教育機関との連携を図りながら地域の活力向上をめざす。
	企業や団体等と連携したPR活動 [定性]	-	-	-	-	-	①				
	道内美術館等との連携・協力の状況 [定性]	-	-	-	-	-	①				
	ボランティアとの連携・協力の状況 [定性]	-	-	-	-	-	①				
学校等の教育機関との連携・支援	学校教育と連携した取組の状況 [定性]	-	-	-	-	-	①	c	・オンラインアート教室の希望校数が増え、広域の学校に作品解説を実施できた。 ・教員を対象とした研修は、時期や内容を精査し、実効性のある研修となるよう工夫が必要。	B	・新たな業種や地域団体、学校教育機関との取組を模索し、提供するプログラムを拡充する。
	児童生徒向け鑑賞教室（オンラインを含む）の実施件数	0	1	令和5年度事業実施計画による	6	600.0%	①				
	キャンパスパートナーシップのメンバー校数	0	1	過去の実績校数	0	0.0%	④				
	教員を対象とした研修の実施状況 [定性]	-	-	-	-	-	①				

R5年度 美術館評価調書

F 安全で快適な滞在環境の提供

函館 美術館

【基本的運営方針】

歴史ある五稜郭公園に隣接している利点を生かしながら、ホスピタリティにあふれた質の高い時間と空間を提供できるよう、館内外の環境整備に努める。

【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画 [PLAN]	事業実施状況 [DO]
施設の適切な維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 施設内外の定期的な日常巡回 不具合等に対する速やかな対応 	<ul style="list-style-type: none"> 委託業者による施設設備の定期点検の結果の確認をするとともに、職員が日常的に館内外を巡回し、不具合等の早期発見に努めた。 検査等で指摘のあった点や修繕が必要な箇所について、速やかに対応を検討し、必要に応じて予算要求を行い改善に努めた。 職員、ボランティア団体、業務委託業者と連携し、消防署員立ち合いのもと避難訓練及びAED訓練を実施した。 展示替休館中、ボランティア団体と協力し展示室内の壁の汚れ落としを行った。
施設の快適性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 特別展に合わせたグッズ販売の充実 喫茶コーナーにおける地域の銘菓の提供 来館者アンケート結果の共有（職員・ボランティア団体） 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア団体と連携し、特別展に関連したグッズを販売した。 「日本ねこ歩き展」期間中、ボランティア団体に協力を依頼し、函館市内の製パン店のねこ型ラスク等を販売した。 来館者アンケートや来館者から直接いただいた意見を、職員及びボランティア団体と共有した。

【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]			評価 [CHECK]				今後の対応方向 [ACTION]		
		前年度実績	目標値(a)	設定の考え方	実績値(b)	達成率(b/a)	指標の判定	項目評価 成果・課題		総合評価	
施設の適切な維持管理	施設の安全性確保のための必要な措置の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①	b	<ul style="list-style-type: none"> 管内を巡回することで、修繕や経過観察が必要な箇所が早期に発見され、改善に繋がった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 館内外の日常巡回を行い、補修・改善が必要な場合は速やかに対応するなど、安全な滞在環境の提供に努める。 来館者アンケートの意見を職員及びボランティア団体と共有し改善策を検討するなど、快適な滞在環境の提供に努める。
	誰もが安心して利用できる施設設備の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①				
施設の快適性の向上	鑑賞環境に対する満足度	76.6%	90.6%	過去5年間の最高値	92.7%	102.3%	①	b	<ul style="list-style-type: none"> 「日本ねこ歩き展」から、売店にエアレジを導入したことで、売店利用者の利便性が向上した。 夏季に喫茶コーナーに冷風機を設置したが、適切な室温調整ができない時間帯があった。 展示室内の壁の汚れは来館者からも指摘されており、こまめに点検し対応する必要がある。 売店でのキャッシュレスサービスの希望があるため、ボランティア団体と協議が必要。 		
	レストラン・喫茶に対する満足度	35.7%	73.3%	過去5年間の最高値	68.6%	93.6%	②				
	ミュージアムショップに対する満足度	46.4%	77.5%	過去5年間の最高値	78.1%	100.8%	①				
	ボランティアや事業者と協力してのサービス向上に向けた取組の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①				
	館内スタッフの対応に対する利用者満足度	73.7%	91.8%	過去5年間の最高値	84.5%	92.0%	②				
ホスピタリティー向上に向けた取組の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①					